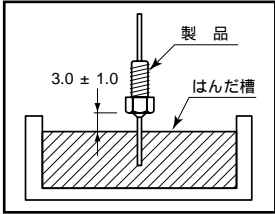


性能及び試験方法

項目		規格	試験方法																		
耐電圧		異常なく耐えること	定格電圧 DC400V 未満： 定格電圧の 2.5 倍を 1 ~ 5 秒間印加する。 定格電圧 DC400V 以上： 定格電圧の 2 倍を 1 ~ 5 秒間印加する。																		
絶縁抵抗		10000 M 以上	定格電圧を 60 ± 5 秒間印加する。																		
温度特性		容量変化率 CG: 0 ± 30ppm/ B: ± 10% D: + 20, - 30% E: + 20, - 55% F: - 30, - 80% R: ± 15% S: ± 22% SL: + 350 ~ - 1000ppm/	20 を基準として、規定温度範囲 # 内における最大の容量変化率を表す。 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td></td> <td>CG, R</td> <td>B, D, E, F, S, SL</td> </tr> <tr> <td>最高使用温度</td> <td>+ 125</td> <td>+ 85</td> </tr> <tr> <td>最低使用温度</td> <td>- 55</td> <td>- 25</td> </tr> </table>		CG, R	B, D, E, F, S, SL	最高使用温度	+ 125	+ 85	最低使用温度	- 55	- 25									
	CG, R	B, D, E, F, S, SL																			
最高使用温度	+ 125	+ 85																			
最低使用温度	- 55	- 25																			
はんだ濡れ性(端子)		浸した部分の 3/4 以上が新しいはんだで覆われていること。	230 のはんだ槽に 3 ± 1 秒間浸す。 はんだ: H63A フラックス: ロジソルメタノール																		
シェルの締め付け		異常のないこと	ナットを用いて、下表のトルクで締め付ける。 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>タイプ</th> <th>締め付けトルク</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>FTA30, FTB30, FTA32</td> <td>0.294N•m</td> </tr> <tr> <td>FTT30</td> <td>0.294N•m</td> </tr> <tr> <td>FTA35, FTP30</td> <td>0.490N•m</td> </tr> <tr> <td>FTA41, FTA4D</td> <td>0.588N•m</td> </tr> <tr> <td>FTT4C</td> <td>0.392N•m</td> </tr> <tr> <td>FTP40, FTT40, FTT41</td> <td>0.588N•m</td> </tr> <tr> <td>FTA5B, FTA5C, FTB50</td> <td>0.588N•m</td> </tr> <tr> <td>FTP82</td> <td>0.735N•m</td> </tr> </tbody> </table>	タイプ	締め付けトルク	FTA30, FTB30, FTA32	0.294N•m	FTT30	0.294N•m	FTA35, FTP30	0.490N•m	FTA41, FTA4D	0.588N•m	FTT4C	0.392N•m	FTP40, FTT40, FTT41	0.588N•m	FTA5B, FTA5C, FTB50	0.588N•m	FTP82	0.735N•m
タイプ	締め付けトルク																				
FTA30, FTB30, FTA32	0.294N•m																				
FTT30	0.294N•m																				
FTA35, FTP30	0.490N•m																				
FTA41, FTA4D	0.588N•m																				
FTT4C	0.392N•m																				
FTP40, FTT40, FTT41	0.588N•m																				
FTA5B, FTA5C, FTB50	0.588N•m																				
FTP82	0.735N•m																				
端子曲げ		異常のないこと	根本より 45 度曲げて元に戻し、さらに逆方向に 45 度曲げて元に戻す。																		
端子引っ張り		異常のないこと	シェルを固定し、各端子の軸方向に 2.0 ± 0.3kg の静荷重を 10 ± 1 秒間加える。																		
耐振動		異常のないこと	下記の可変振動を XYZ 方向に各 2 時間加える。 周波数: 10 ~ 55 ~ 10Hz 1 分間 周期: 1.5mm p-p 周波数変化の周期: 1 分																		
はんだ耐熱性	外 観	著しい変化のないこと	端子の長さ 3mm の所まではんだ槽に入れ、10 秒間保持する。 測定は 4 ~ 24 時間放置後行う。 はんだ槽温度: 300 ± 3 																		
	静電容量変化率	± 15% 以内																			
	誘電正接	3.5% 以下																			
	絶縁抵抗	5000 M 以上																			
温度サイクル	外 観	著しい変化のないこと	下表に示すサイクルを連続 25 サイクル行った後、試験槽から取り出し、4 ~ 24 時間室温放置した後電気的特性の測定を行う。 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>段階 1</td> <td>下限温度</td> <td>60 分</td> </tr> <tr> <td>段階 2</td> <td>常 温</td> <td>5 分</td> </tr> <tr> <td>段階 3</td> <td>上限温度</td> <td>60 分</td> </tr> <tr> <td>段階 4</td> <td>常 温</td> <td>5 分</td> </tr> </table>	段階 1	下限温度	60 分	段階 2	常 温	5 分	段階 3	上限温度	60 分	段階 4	常 温	5 分						
	段階 1	下限温度		60 分																	
	段階 2	常 温		5 分																	
	段階 3	上限温度		60 分																	
段階 4	常 温	5 分																			
静電容量変化率	± 20% 以内																				
誘電正接	5% 以下																				
絶縁抵抗	1000 M 以上																				
高温負荷	外 観	著しい変化のないこと	試料を最高使用温度 ± 3 の試験槽に入れ、定格電圧の 2 倍を 1000 ± 24 時間印加した後試験槽より取り出し、4 ~ 24 時間室温にて放置し電気的特性を測定する。																		
	静電容量変化率	± 20% 以内																			
	誘電正接	5% 以下																			
	絶縁抵抗	1000 M 以上																			
耐湿負荷	外 観	著しい変化のないこと	試料を 40 ± 2、90 ~ 95%RH の試験槽に入れ、定格電圧を 500 ± 12 時間印加した後試験槽より取り出し、4 ~ 24 時間室温にて放置し電気的特性を測定する。																		
	静電容量変化率	± 20% 以内																			
	誘電正接	5% 以下																			
	絶縁抵抗	1000 M 以上																			